

「第4期原村地域福祉計画」(素案)における パブリックコメント意見一覧

1	内容	<p>①住み慣れた地域生活にするための環境づくり、交通不便者の外出支援について ご主人が入院されておひとりになられ「元気な時は原村はとっても良い所でした。でも車がないと生活できないところだと分かりました。」と何度も言われて引っ越された移住者の言葉がとて心に残りました。福祉輸送サービスは条件が厳しく、セロリン号ではバス停から重い荷物を玄関まで運ぶこともできない人がいる。高齢化でますますこのような交通弱者が増えます。特に上の方に住む移住者は、深刻です。原村は小さな村なので茅野市のような訳にはいかないと思います。原村にふさわしいやり方を考えなければなりません。そのためには、もっと開かれた検討会が必要です。危機感を持ち、どうにかしようと模索している住民は少なくありません。それこそ行政と協働で進めるべき課題なのではないかと思ます。</p> <p>②ボランティア活動の推進について 原村では、ボランティア活動を「奉仕活動」と思われている方が多いようですが、本来の意味は「自主活動」です。その認識のずれがボランティア活動が広がらない原因の一つになっていると思います。農家の皆さんにとっては、生涯現役ですからボランティア活動を暇な人がやることと思われているでしょう。しかし、移住者の多くはリタイアしてきている人が多く、その人生設計の違いもあるように思います。その違いはなくすることはできないので、原村の住民の特性をつかんでボランティア活動を推進する必要があると思います。最近では奉仕活動だけでなく、原村を住みやすい村にしようと、学びを深めながら活動するグループが増えてきています。ボランティアの質が変わってきているのです。ですから、ボランティアセンターとしては茅野のゆいわーくのような場所が必要です。問題はボランティアをまとめる部署がないことです。公民館、社協、図書館、学校など、それぞれが活発に活動しているのに情報もばらばら。これでは、ボランティアをしたいと思ってもどこに相談に行ったらよいか分かりません。まずは、縦割りを「つなぐ」ということを考えてほしい。それが、ボランティアが活動しやすい仕組みづくりの第一歩ではないかと思ます。</p> <p>③地域福祉推進組織の育成支援について 行政と地域が協働で地位福祉を担う時代。その仕事の多くを委託された社会福祉協議会の存在はとても大きなものとなっています。ここ数年、おいでなして原宿、ねこの手サービス、支え合いマップ、多様な学習会など、社協の地域福祉に関わる取り組みは新しい感覚を取り入れとても深化していると思います。しかし、これから力を入れるべき地域福祉担当が他の仕事を兼務しての3人とは少なすぎます。社協の仕事は行政とは違い現場が命。となると、スペシャリスト(福祉士、防災士、介護士、保健師など)の人的配置が必要となります。「社協の基盤整備のための職員派遣」とはどのような意味でしょうか。必要なのはスペシャリストです。「財政基盤の強化」とありますが、人件費がかかるならば、福祉事業に経験のある上司を置き、臨機応変に住民の相談にのったり、現場で働く若い人達をアドバイスしながら育てたりすることができるような社会福祉法人であるべきでは。現場で働く方々には感謝の気持ちでいっぱいですが、よりよい地域福祉を実現するためには、まずは働きやすい職場であることが一番だと思ます。</p>
---	----	---

<p>回答及び村の考え</p>	<p>①交通不便者の外出支援については、高齢者の社会参加は生きがいづくりや地域の活性化につながることから、公共交通機関を利用することが困難な高齢者や障がい者を対象に、福祉輸送サービスを実施して外出を支援しているため、施策 2-1 に福祉輸送サービスとして盛り込んでいます。</p> <p>②ボランティア活動の推進については、本村としても地域のために貢献したいという思いを活動につなげるため、ボランティアの活動内容についての情報提供や参加しやすい環境づくりが必要だと考えています。ボランティア活動をしたい人と、それを求める人とを結ぶ専任のボランティアコーディネーターが活躍するおいでなして原宿を拠点にボランティアセンターのような新たな仕組みづくりを進めていますので、施策 2-2 に盛り込んでいます。</p> <p>③地域福祉推進組織の育成支援については、社会福祉協議会は、地域福祉の推進主体として、地域福祉活動への住民参加の促進や、行政と連携し、関係機関との調整や協力関係を作る役割などを担っていることから、行政として、新しい福祉の流れや社会の動向を的確に把握していくことが必要と認識しています。なお、人事体制については行政で関与するには限界があるため、財政補助や職員派遣を行っています。</p> <p>今回頂きましたご意見につきましては、さらに誰もが安心して暮らすことができる地域を目指していくため、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>
<p>方針</p>	<p>①、②については重要視したい内容であり、すでに計画に盛り込んであるため計画案の修正はしません。</p> <p>③については一部表現が分かりにくいとの指摘があったため、内容を変更しました。</p>